～～～運転免許証を自主返納された方へ（お知らせ）～～～

吹田市在住の７５歳以上の運転免許所持者で、令和４年４月１日以降に有効免許を自主返納（全部返納）した方の公共交通機関利用に係る費用を以下のとおり補助しています。

※但し、年度予算額を超えた場合は申請を受け付けることができません。

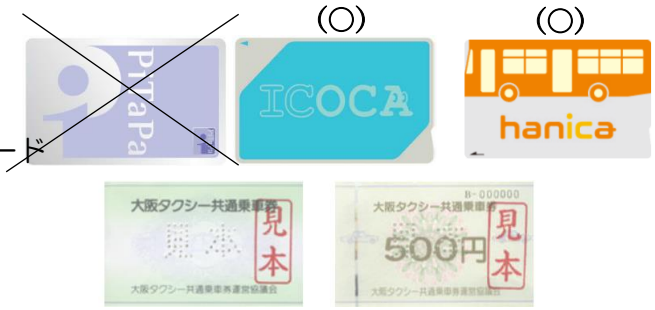
公共交通利用に係る交通系 IC カード等の購入費を補助します。

補助金額上限：１返納あたり６０００円

補助対象経費：次のいずれかの費用

① 交通系 IC カードの購入及びチャージに係る費用

「ICOCA（イコカ）」「hanica（ハニカ）」等の IC カード



② 大阪タクシー共通乗車券の購入に係る費用

※免許返納後のタクシー利用に係る領収書でも受付可

補助金交付までの流れ

1. 運転免許証を返納する。（場所：吹田警察署）

2. 公共交通利用に係る交通系 IC カード等を購入する。（場所：各購入窓口）

3. 申請書一式を提出する。※代理申請可（場所：吹田市土木部総務交通室）

4. 書類審査後、補助金を申請者に交付します。

補助を受ける方は、吹田市役所土木部総務交通室で「吹田市高齢者運転免許証自主返納者の公共交通利用に関する補助金」の交付申請をしてください。

申請書様式は市ホームページからも印刷できます。（QR コードはこちら→→）

【申請受付場所】

吹田市佐竹台１丁目６番１号　吹田市土木部庁舎　４階　総務交通室

※土木部庁舎１階　道路室にお声がけください。担当職員が参り、対応いたします。

「運転免許証自主返納者の公共交通利用に関する補助金」　　TEL（06）６１５５－３５３１

【持ち物】

- 申請による運転免許の取消通知書の写し
- 補助対象経費を示す領収証または写し
- 本人が確認できるもの（マイナンバーカードの表面、健康保険証、運転経歴証明書など）の写し
- 振込先口座（口座名義人が本人のもの）が確認できる書類（通帳またはキャッシュカード）の写し
- 印鑑
- 取消通知書に記載の住所が吹田市外である場合に、現住所を示す書類の写し

※交付決定があった場合の振込先を申請書兼請求書にご記入いただきますので、ご用意願います。

申請内容に問題が無ければ、申請後１か月半程度を目途に、交付決定通知書を郵送し、通知書記載の交付決定額をご指定の振込先に入金いたします。

吹田市役所　土木部　総務交通室

運転免許の自主返納について考えてみよう・・・

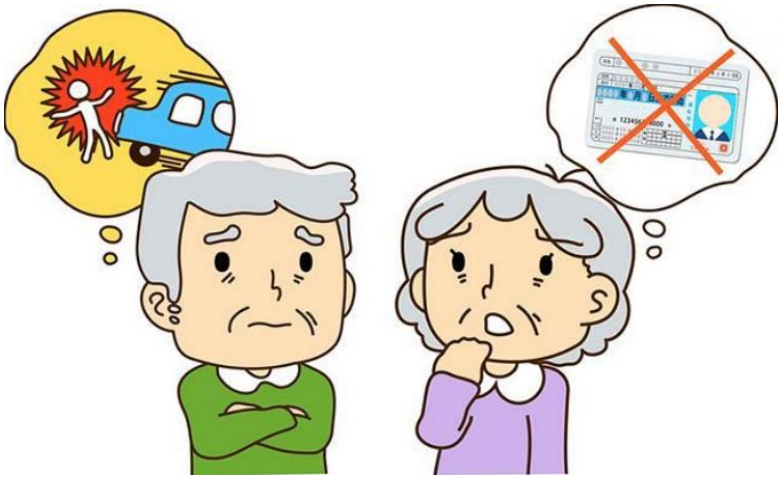
近年、高齢者ドライバーによる交通事故が社会問題化しています。

乗用車を運転していた高齢者が、ブレーキとアクセルを踏み間違えたことによって車を暴走させ交差点に進入し、歩行者・自転車らを次々にはね、計 11 人を死傷させた（母子２人が死亡、ほか９人が負傷）東池袋自動車暴走死傷事故は記憶に新しいところで、このような事故があってはならないと思うのは、皆さん一致しているでしょう。

身体機能の低下は個人差があるので、年齢で一括りにできるものでもありません。７０歳になっても、８０歳になっても元気な方はたくさんいます。でも、加齢に応じて身体機能や認知機能の低下が進んでいく傾向があることも事実です。

皆さんは、ご自分の運転に不安を持ったことはないでしょうか？
ウインカーを間違って出したり、障害物に気が付かなかったり、サイドブレーキを忘れたり・・「ちょっと疲れていただけ・・」そうですね、確かにそんなことはありますよね。でも、皆さんの多くは若いころから運転されているので、ちょっと不注意だっただけなのか、自分の身体機能の低下なのかは気づいていると思います。

自分の変化に気づきながら「まだ大丈夫・・」「あんなひどい事故を起こす前には運転をやめるし・・」そんな気持ちで車を運転するということが、一体どういうことなのか・・ということを是非考えてみてほしいのです。



吹田市内の公共交通は一定充実しています。お住まいの場所によってバラツキはありますが、吹田市内に公共交通で行けないところは無いと思います。自家用車をもたない生活が考えにくい方も一度「吹田市公共交通マップ」を見てみてください。→→→→→→→→→→→

あと、自家用車は、燃料、税金、保険、駐車場代、修理費、等々・・・・
とてもコストがかかっていると思います。必要なときにタクシーを使った方が安くつかないでしょうか？

運転をやめるのは大きな決断がいることです。でも、いつかはやめる時がきます。
いろんなことを考え直してみて、それでも自家用車に頼るのも判断の１つですし、生活様式の変化を受け入れて運転を卒業するのも判断の１つだと思います。

家族、友人なども交えながら、ご自身の運転免許の自主返納について考えてみていただけると幸いです。